

先週のマーケット動向(4月3日~4月7日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,306.2	1,321.1	1,304.5	1,316.7	+14.8
JPY/KRW	9.8225	10.0806	9.8442	9.9833	+0.208
KOSPI	2,485.81	2,497.61	2,458.50	2,490.41	+13.55

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は上昇した。3日のドル/ウォン相場は1,306.2ウォンでオープン。休日中に発表されたOPECプラスの減産報道を受け、ドルが強含み週高値1,321.1まで上昇。その後、米ISM製造業景況指数やJOLTSといった米国経済指標が軒並み低調な内容となったことで、ウォンが強含み4日に週安値の1,304.5まで下落するも、週末に米雇用統計を控える中では様子見ムードが強く下値は限定的だった。6日は引き続き米ADP雇用統計が弱い内容だったことでリスク回避ムードが一段と強まり一転してドル/ウォンは底堅く推移した。7日はイースター休暇に伴いアジア・欧州の多くの市場が休場となったことや、米雇用統計を控え、終日方向感に欠ける値動きに。結局、ドル/ウォンは先週対比+14.8ウォン上昇した1,316.7ウォンにてクローズ。

今週の見通し

今週のドル/ウォンは底堅い展開を予想。先週は米国経済指標において弱い結果が続いたものの、週末の雇用統計は市場予想通りの内容となり、米経済に対する悲観的な見通しは幾分和らいだ。米金利の低下も一段落したことで、米ドルも底堅く推移しよう。今週も12日に米3月CPIを控えるなど、指標結果が注目されるだろう。引き続き韓国企業による配当金のドル転需要も見込まれることから、ドル/ウォンは底堅い推移を予想する。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1300 ~ 1330	9.75 ~ 10.05	130.8 ~ 133.8

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 10日(月) 日 2月 国際収支
- 11日(火) 中 3月 PPI
中 3月 CPI
韓 BOK 政策金利発表
- 12日(水) 米 3月 CPI
韓 3月 失業率
日 2月 機械受注
米 FOMC議事録
- 13日(木) 米 4月 失業保険新規申請者数
米 3月 PPI
中 3月 貿易収支
- 14日(金) 米 4月 ミシガン大消費者マインド指数 速報値
米 3月 鉱工業生産
米 3月 小売売上高